

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロダクトデザイン実習2B	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	木曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	加賀武見	実務経験の有無・職種	有・デザイナー		
学習目的					
<p>この科目を受講する学生は、プロダクトデザインの導入として基礎的なプロダクト製品の提案をします。簡単な造形で加工しやすい木材を素材として、サイズ、形態、仕上げなどから理解を深め、試作制作のトレーニングを行い、これから経験していく仕事の現場で、役に立つデザイン企画制作を行い、モデリング技術を身に着けるようになります。デザイン提案を人に伝達していくプレゼンテーションを行い、実践的に学びます。積極的に学び、機能と形の適正を考えてデザインすることができるようになるのがねらいである。</p>					
<p>この科目では、学生が、基礎的なプロダクトデザインの実習から企画、提案を学び、形や機能に適正なデザインを行います。業界で活躍するために必要になる基本技術を向上させます。プロダクトデザインをアイデアから、コンセプトを考え、スケッチ、モデリングと丁寧な作業で完成させます。デザインを企画提案するトレーニングを行います。一連のデザインの流れを把握して実施できることを目標にしている。</p>					
教育方法等					
授業概要	この授業では、プロダクトデザインの基礎的な内容を講師から解説を受け、出題される課題、木製の文具とカトラリーを制作して、段階的にモデリング技量を向上する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの企画提案」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身で実践し、プレゼンテーションができるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生にプロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。アイデアコンセプト、ユーザービリティを知り、今後、実習授業時で求められる提案モデルが製作ができるベースになる実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	基礎プロダクト課題1 ガイダンス	「ペーパーナイフ」 アイデアスケッチ			
2回	基礎プロダクト課題1	「ペーパーナイフ」 ユーザー設定 要求項目			
3回	基礎プロダクト課題1	「ペーパーナイフ」 ラフモデル			
4回	基礎プロダクト課題1	「ペーパーナイフ」 モデル 加工 仕上げ 撮影			
5回	基礎プロダクト課題2 ガイダンス	「木アイススプーン」 アイデアスケッチ			
6回	基礎プロダクト課題2	「木アイススプーン」 ユーザー設定 要求項目			
7回	基礎プロダクト課題2	「木アイススプーン」 ラフモデル			
8回	基礎プロダクト課題2	「木アイススプーン」 モデル 加工 仕上げ 撮影			
9回	基礎プロダクト課題3 ガイダンス	「マウス」 アイデアスケッチ			
10回	基礎プロダクト課題3	「マウス」 ユーザー設定 要求項目			
11回	基礎プロダクト課題3	「マウス」 ラフモデル			
12回	基礎プロダクト課題3	「マウス」 モデル 加工 仕上げ			
13回	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションデータ			
14回	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションデータ			
15回	プレゼンテーション	プレゼンテーション発表			